

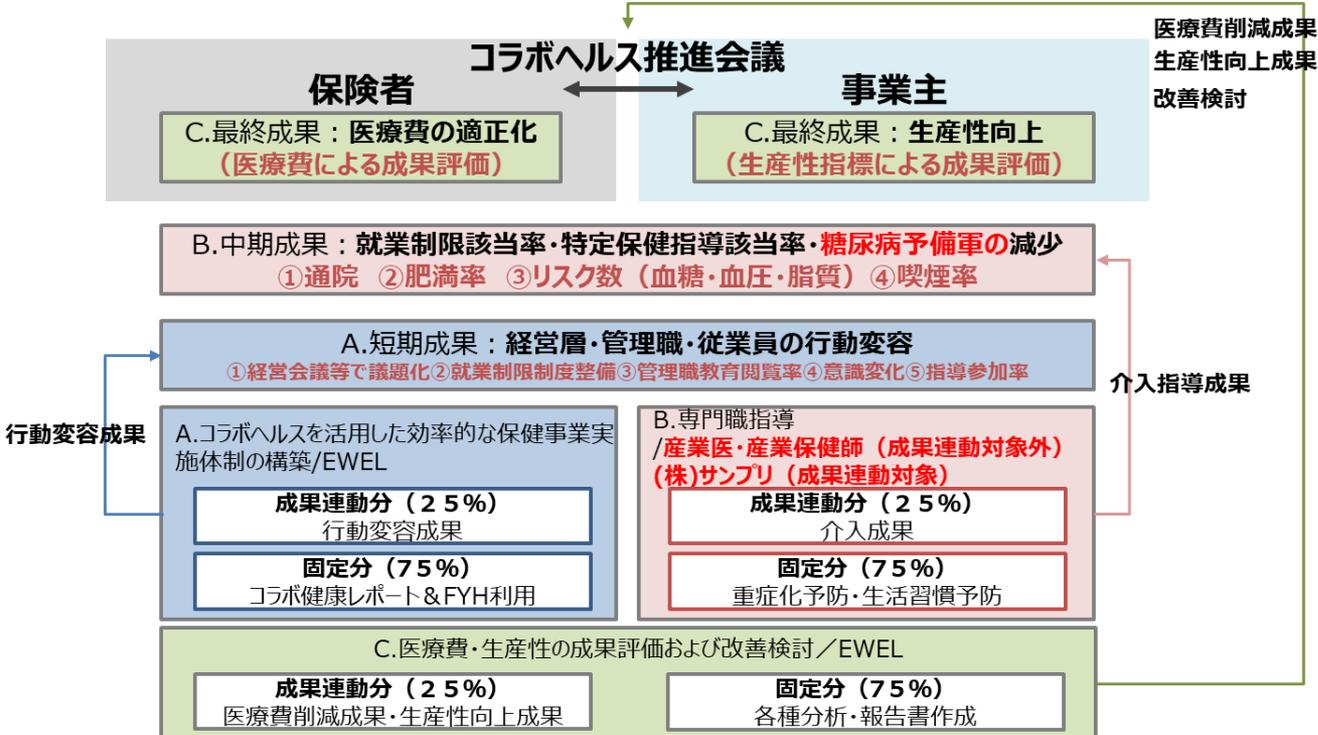
エグゼクティブサマリー

背景・目的

事業主は**小規模分散型**で直接的な個々の従業員に対する介入が困難な事情もありこれまで健康管理については法的義務範囲での対応に留まっていた。保険者の保健事業展開についても分散し**多忙を極める店舗に従事する被保険者**に対し生活習慣改善の重要性を伝え、リスク者には効率的に介入実施するのは極めて困難な状況が続いていた。

こうした事情を打破するため**コラボヘルス体制を見直し、データに基づき有益な情報を事業主側の経営層、管理職層へ展開**することで健康増進に対する意識改革を全社的に推進し、結果として小規模店舗在籍の従業員も含め**効率的に機能する保健事業体制の確立**を目指した。

実施内容



効果・成果

A短期成果
経営層・管理職・従業員の行動変容



B中期成果
就業制限該当率・糖尿病予備軍の減少



C最終成果
健診結果指標の良化



1. 目的

保健事業としての目的

① コラボヘルス活用型保健事業実施体制の確立

店舗従業員にリーチするためには事業主の協力が不可欠

② ハイリスクアプローチ実施によるリスク者の減少

血圧・血糖のリスク者を抽出し早期介入することで重症化を防ぐ

③ データ活用による成果把握

活動成果の見える化を図りPDCA運用を可能にする

PFS事業としての目的

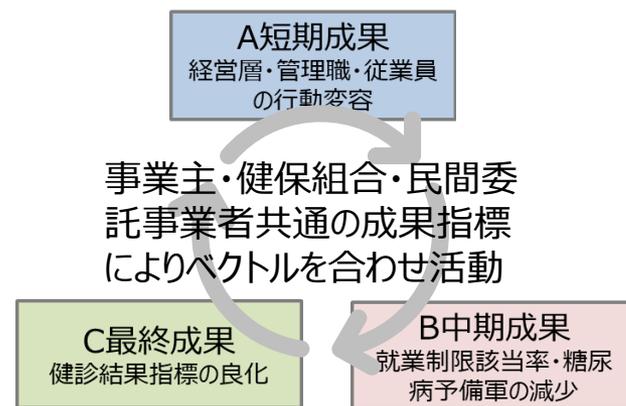
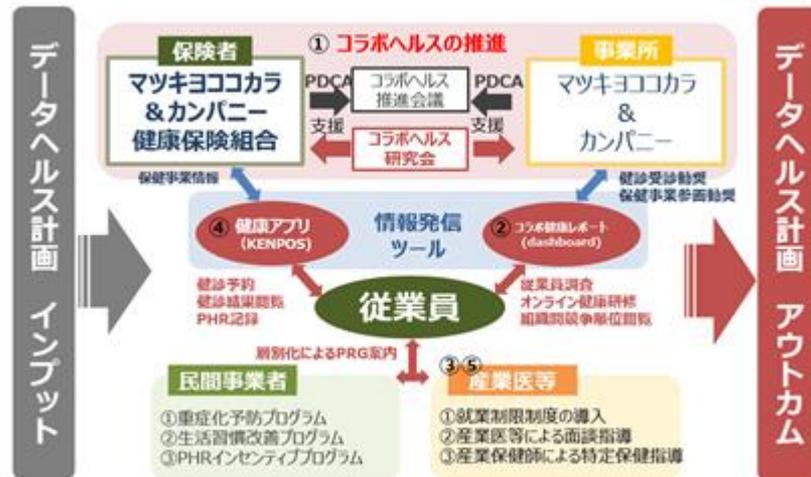
本事業は**組織横断的な取組み**となることから、成功確率を上げるためにはPFS事業として明確な評価指標を持って民間委託事業者と契約締結し、その評価指標のもとに事業主、保険者、民間委託事業者が**同じ方向に向けて取り組むことが必須**と考える。また巻き込み型の事業展開となるため**精緻なPDCAを丁寧に展開する必要**があることから**第三者評価機関として産業医科大学を迎え**、初年度は首都圏140店舗を展開する(株)ぱぱすで実証および改善案を練ったうえで2年目約1800店舗を展開するマツモトキヨシ、3年目約1800店舗を展開するココカラファインと順に参画させ遂行した

参加団体

申請者：マツキヨココカラ＆カンパニー健康保険組合

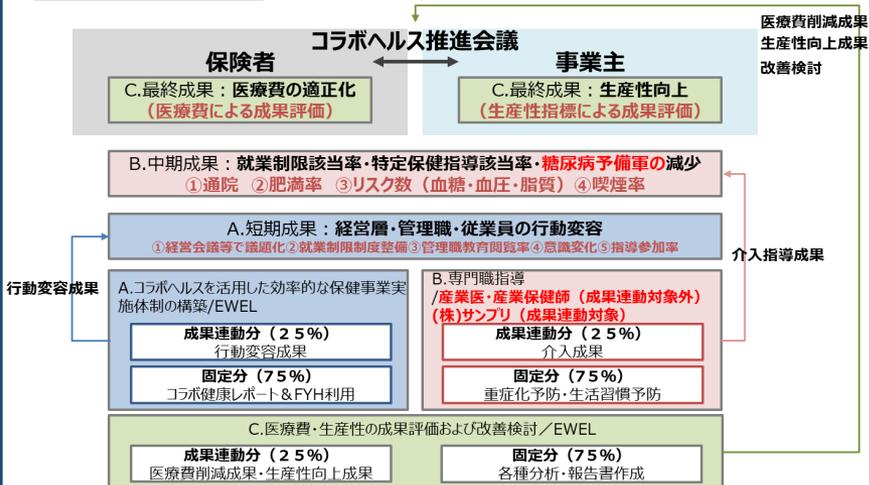
民間委託事業者：(株)イーウェル、(株)サンプリ

第3者評価機関：産業医科大学



2. 事業内容

実施スキーム



A. コラボヘルスを活用した効率的な保健事業実施体制の構築

- ① コラボヘルス推進会議新設、定例会議化
- ② コラボ健康レポートの展開
- ③ オンライン健康研修の実施
- ④ PHR (KENPOS) 活用による全員参加型健康増進活動の実施

B. コラボヘルスによる層別化介入活動

- ① 特定保健指導対象者に対する指導実施率強化
- ② 就業制限レベル者に対する医療職による受診勧奨
- ③ 保健指導レベル者に対する外部事業者による保健指導

C. データの一元化、活動の可視化、PFS評価指標に基づく効果検証によりコラボヘルスを推進

- ① データの一元化
- ② 活動の可視化
- ③ PFS評価指標に基づく効果検証

スケジュールと実施範囲

2022年度

(株)ぱぱす

対象数約1,000名

2023年度

(株)ぱぱす+(株)マツモトキヨシ

対象数約9,000名

2024年度

(株)ぱぱす+(株)マツモトキヨシ+(株)ココカラファイン

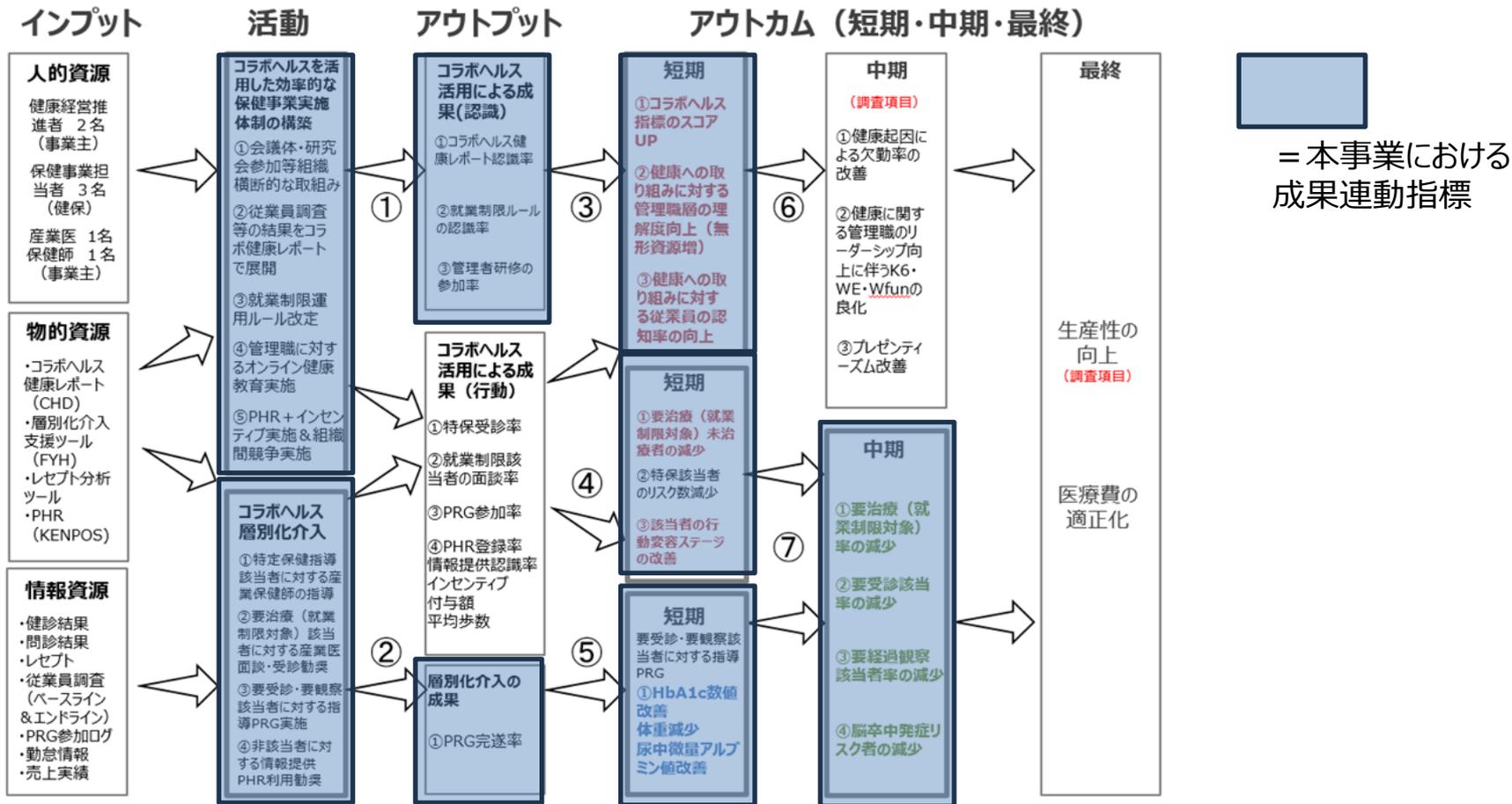
対象数約18,000名

事業実施内容	令和4年4月	5月	6月	7月	8月	9月
事業計画策定	申請	採択通知	理事長・経営会議承認	2022年度実施報告	2023年度実施報告	2024年度実施報告
契約締結		コラボ推進協議	就業制限制度構築	コラボ推進協議	就業制限制度構築	コラボ推進協議
就業制限制度構築		従業員調査①	各種アンケート締結	データ匿名化	データセットアップ	
データ収集				健康レポート&管理者研修準備		
データ分析				個別化案内PRG準備		
成果報告						動作試験
介入活動開始						
健康レポート&管理者研修の展開						
就業制限制度開始をアナウンス						
生産性状況/医療費状況を公開(他社比較・部署間比較等)						
オンライン健康研修の実施						
個別化案内PRGの展開						
要治療(就業制限)該当者への産業医面談実施&通院勧奨						
要受診・要経過観察該当者への重症化予防プログラムの実施						
非該当者へのPHR利用促進						

事業実施内容	令和5年4月	5月	6月	7月	8月	9月
事業計画策定	申請	採択通知	理事長・経営会議承認	2022年度実施報告	2023年度実施報告	2024年度実施報告
契約締結		コラボ推進協議	就業制限制度構築	コラボ推進協議	就業制限制度構築	コラボ推進協議
就業制限制度構築		従業員調査①	各種アンケート締結	データ匿名化	データセットアップ	
データ収集				健康レポート&管理者研修準備		
データ分析				個別化案内PRG準備		
成果報告						動作試験
介入活動開始						
健康レポート&管理者研修の展開						
就業制限制度開始をアナウンス						
生産性状況/医療費状況を公開(他社比較・部署間比較等)						
オンライン健康研修の実施						
個別化案内PRGの展開						
要治療(就業制限)該当者への産業医面談実施&通院勧奨						
要受診・要経過観察該当者への重症化予防プログラムの実施						
非該当者へのPHR利用促進						

事業実施内容	令和6年4月	5月	6月	7月	8月	9月
事業計画策定	申請	採択通知	理事長・経営会議承認	2022年度実施報告	2023年度実施報告	2024年度実施報告
契約締結		コラボ推進協議	就業制限制度構築	コラボ推進協議	就業制限制度構築	コラボ推進協議
就業制限制度構築		従業員調査①	各種アンケート締結	データ匿名化	データセットアップ	
データ収集				健康レポート&管理者研修準備		
データ分析				個別化案内PRG準備		
成果報告						動作試験
介入活動開始						
健康レポート&管理者研修の展開						
就業制限制度開始をアナウンス						
生産性状況/医療費状況を公開(他社比較・部署間比較等)						
オンライン健康研修の実施						
個別化案内PRGの展開						
要治療(就業制限)該当者への産業医面談実施&通院勧奨						
要受診・要経過観察該当者への重症化予防プログラムの実施						
非該当者へのPHR利用促進						

3. PFS事業の支払条件・ロジックモデル



①、③、④については**事業Aコラボヘルスを活用した効率的な保健事業実施体制の構築事業**で検証を試みる

⑥については民間委託事業者イーウェルによる2020年、2021年経産省ヘルスケアサービス社会実装事業費補助金(ヘルスケアサービス社会実装支援事業及びヘルスケアサービス品質評価構築支援事業)において正の相関関係を示すことを実証済

②、⑤については**事業B専門職指導事業**で検証を試みる

⑦については**事業C医療費・生産性の成果評価および改善検討事業**で検証を試みる

4. 主な活動報告

事業A 短期成果

コラボヘルスを活用した効率的な保健事業実施体制の構築（短期的成果）

① 組織横断的な取り組み

活動計画を経営会議等で承認の上、**コラボヘルス推進会議**を新設し毎月開催による会議体運営を行った。加えて第三評価機関である産業医大主催の**コラボヘルス研究会**へ事業主、保険者が一緒に参加することで他社の好事例やコラボヘルス運営ノウハウを共有し本活動の円滑実施に繋がった

② 分析&コラボ健康レポートの展開

- 分析結果報告 + 従業員向けWEB共有（コラボヘルス）
- 2022年度、2023年度HealthUpNavi PV数 24,439(23年10月~24年3月)
- 2024年度からは事業主が対外的に展開するWEBページでの公開に発展
<https://www.matsukiyococokara.com/sustainability/policy/>

③ オンライン健康経営研修の実施

健康経営に取り組む意義、取り組む内容等についてオンライン研修動画を作成し社内ELSにて全正社員視聴義務として展開し高い回答率を得た

- 2022年度 22,112人/24,539人 90.7% オンライン研修理解度回答率

④ PHR（KENPOS）活用による全員参加型健康増進活動の実施

- 組織間歩数競争の実施
- 健保組合によるインセンティブ付与（コラボヘルス）
- 47グループ440名参加 組織間競争参加率1.7%



4. 主な活動報告

事業B 中期成果

コラボヘルスによる層別化介入活動

① 特定保健指導対象者に対する指導実施率強化

社内管理栄養士の育成と従業員の健康維持を目的として、健康保険組合より特定保健指導を受託した社内管理栄養士が、対象者の測定データや健康保険組合の各種データを活用した保健指導を実施。管理栄養士が約600名在籍する当社の強みを活かした特定保健指導プログラムの実施により、従業員の健康を食事、栄養面からサポート

<特定保健指導実施率>

2022年度 34.3% → 2023年度 37.8%

② 就業制限レベル者に対する医療職による受診勧奨

対象者：就業制限レベル

① 拡張期血圧：180以上または収縮期血圧：110以上

② HbA1c：8.0%以上

健保側 顧問医レセプト確認による指示書作成、保健師指導

※特に糖尿病については専門医受療へ強く誘導

事業主側 従わない者への産業医、保健師指導、人事指導

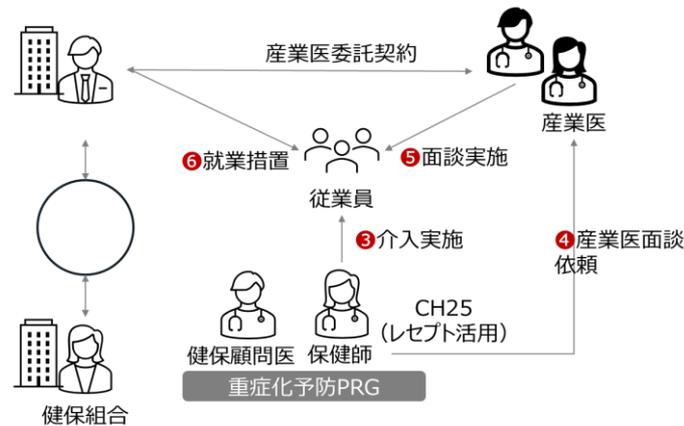
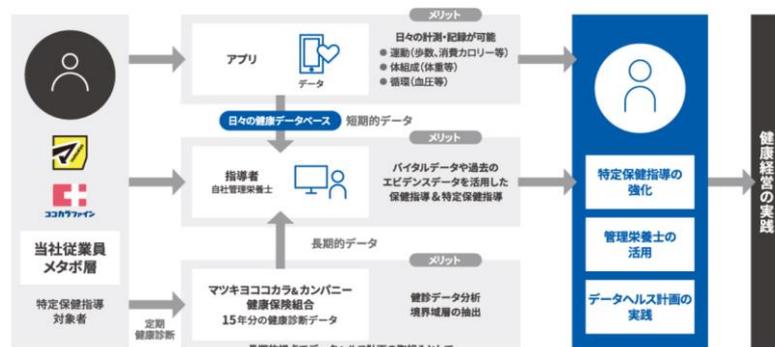
③ 保健指導レベル者に対する外部事業者による保健指導

対象者：要受診レベル

① 拡張期血圧：160以上または収縮期血圧：100以上

② HbA1c：5.6以上8.0未満

(株)サンプリ（民間事業者）による保健指導&ICTプログラム



プログラムの流れ



5. 保健事業としての成果と評価

事業A 短期成果

コラボヘルスを活用した効率的な保健事業実施体制の構築（短期的成果）

① コラボ指標のスコア改善

定義

事業主スコア+健保組合スコア

2022年事業開始時 51

2023年3月の達成目標：+5% 54 → 97 (+180%) : 達成

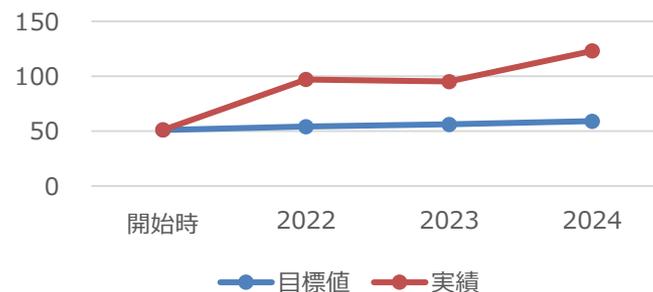
2024年3月の達成目標：+10% 56 → 95 (+170%) : 達成

2025年3月の達成目標：+15% 59 → 123 (+208%) : 達成

結果



コラボヘルス指標のスコア改善



測定方法

産業医科大学産業保健経営学研究室・コラボヘルス研究会：コラボヘルス指標を毎年3月に事業主、健保組合各々が回答し合計点数を年度のコラボヘルス活動評価とした

② 従業員の支援認識率の向上

定義

POS指標

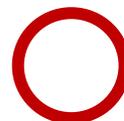
2022年事業開始時 58%

2022年12月の達成目標：+10% → 65% (+12%) : 達成

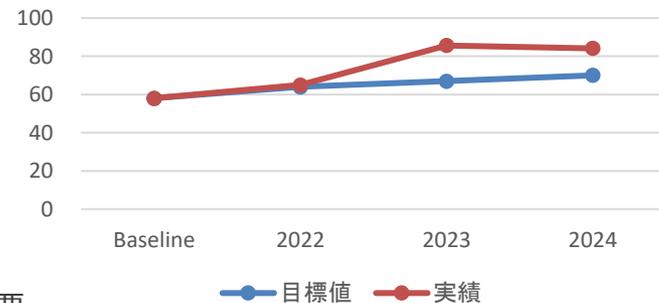
2023年7月の達成目標：+15% → 86% (+48%) : 達成

2024年7月の達成目標：+20% → 84% (+45%) : 達成

結果



従業員の支援認識率向上



測定方法

毎年7月の従業員意識調査にPOS設問Q私の会社の経営層は、従業員の健康を重要な経営上の目標として位置付けているを追加 回答率90%以上 回答数約17千件

(POS : Perceived Organizational Support)

5. 保健事業としての成果と評価

事業A 短期成果

コラボヘルスを活用した効率的な保健事業実施体制の構築（短期的成果）

③ 要治療該当者の未治療者数の減少

定義

要治療該当者の未治療者数

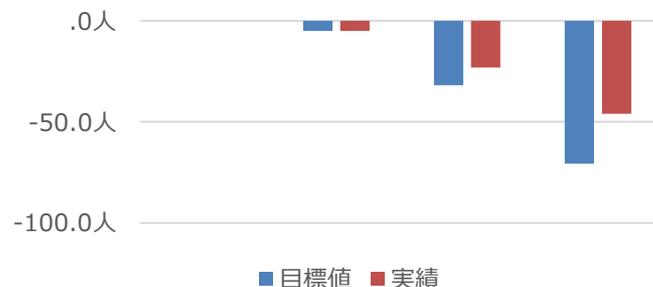
2022年3月の達成目標：-5名
2023年3月の達成目標：-31名
2024年3月の達成目標：-70名

結果

-5名：達成
-30名：未達成
-55名：未達成



要治療該当者未治療者数減



測定方法

毎年度末に未治療者の減少率を目標設定し100%のコンタクト率で受診勧奨を実施しレセプト確認を実施。2021基準年度はぱす10名、マツモトキョシ50名、ココカラファイン71名それぞれ開始年度50%、2年目60%、3年目70%と五月雨式に介入した

④ 要受診該当者の生活習慣改善

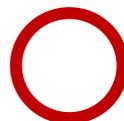
定義

悪い生活習慣より脱出できた人数

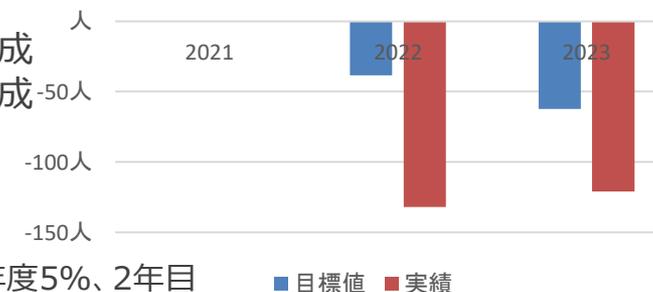
2023年3月の達成目標：38名 -5%
2024年3月の達成目標：62名 -10%
2025年3月の達成目標：測定待ち -15%

結果

132名 (-17.2%)：達成
121名 (-19.4%)：達成



要受診該当者生活習慣改善者数



測定方法

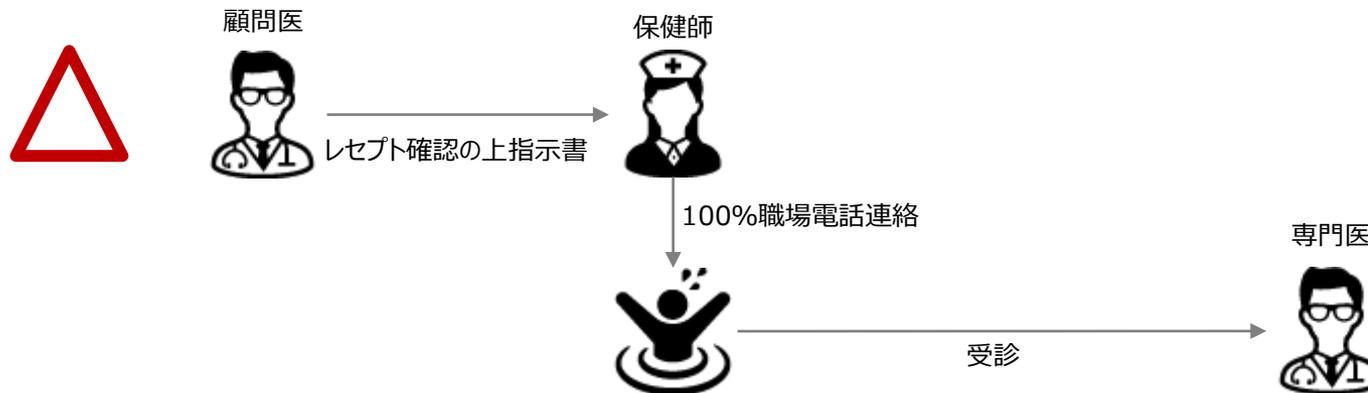
2021基準年度はぱす40名、マツモトキョシ339名、ココカラファイン389名に対し開始年度5%、2年目10%、3年目15%の生活習慣改善を目指した。問診項目の内、①30分以上の運動（しない）②歩く速度早い（いいえ）③就寝前2h以内週3回以上（たべる）④朝食抜き（3回以上）を採用し改良した者をカウント

5. 保健事業としての成果と評価

事業B 中期成果

コラボヘルスによる層別化介入活動 アウトカム評価 <2024年度>

① 就業制限レベル者に対する医療職による受診勧奨



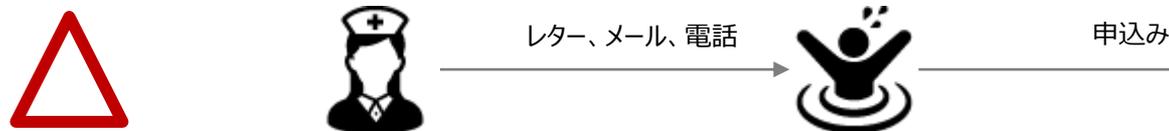
拡張期血圧：180以上または収縮期血圧：110以上
111名 内、受診中43名（39%） 未受診68名（61%）

未受診68名の内、勧奨により受診11名（16%）

HbA1c：8.0以上
114名 内、受診中69名（61%） 未受診45名（39%）

未受診45名の内、勧奨により受診11名（24%）
内、専門医 4名（36%）

② 保健指導レベル者に対する外部事業者による保健指導



拡張期血圧：140以上180未満または収縮期血圧：90以上110未満

HbA1c：5.6以上8.0未満

4519名

277名(6.1%)

プログラムの流れ



5. 保健事業としての成果と評価

事業B 中期成果

コラボヘルスによる層別化介入活動

③ 保健指導レベル者に対する外部事業者による保健指導

① 保健指導完遂率

定義

完遂率 = 修了者数 / 参加者数

2022年3月末目標 : 80%

2023年3月末目標 : 80%

2024年3月末目標 : 80%

結果

19/20 (95%) : 達成

176/189 (93%) : 達成

259/277 (93%) : 達成



測定方法

民間事業者(株)サンプリによる保健指導プログラムMYPACE管理情報において保健指導修了者(効果測定提出)/保健指導参加者数として算出

② 数値改善率

定義

以下の数値のいずれかが目標達成 :

40%以上

HbA1c 0.1%以上減少

体重2kg以上減少

尿中微量アルブミン10mg/gCr以上低下

結果

2022年度

計7名/20名(35%) : 未達成

HbA1c 1名 体重 6名 アルブミン 0名

2023年度

計102名/189名(54%) : 達成

HbA1c 57名 体重 40名 アルブミン 5名

2024年度

計102名/277名(37%) : 未達成

HbA1c 59名 体重 43名 アルブミン 0名



測定方法

プログラム修了時実施の郵送検診血液検査、尿検査、問診データにより判定

5. 保健事業としての成果と評価

事業C 長期成果

データの一元化、活動の可視化、PFS評価指標に基づく効果検証によりコラボヘルスを推進

① 未治療者減少に伴う要治療該当率の減少

定義

高血圧・高血糖要治療レベル

2023年3月の達成目標：-60名 -20%

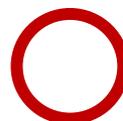
2024年3月の達成目標：-59名 -25%

2025年3月の達成目標：2025年健診結果待ち

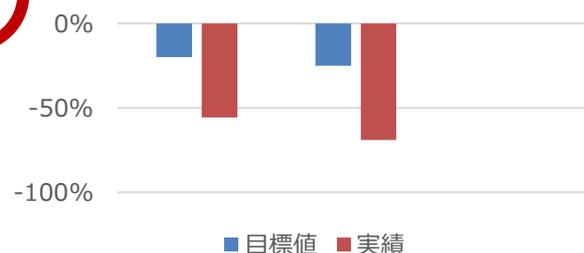
結果

-166 (-56%) : 達成

-163 (-69%) : 達成



要治療該当率の減少



測定方法

2021年度健診結果において要治療該当者（拡張期血圧：180以上または収縮期血圧：110以上 HbA1c：8.0以上）ぱぱす17名、マツモトキヨシ138名、ココカラファイン143名 計298名に対し良化離脱数を検証

※退職者除く

② 生活習慣改善に伴う要受診該当率の減少

定義

高血圧・高血糖要受診レベル

2023年3月の達成目標：-74名 -10%

2024年3月の達成目標：-89名 -15%

2025年3月の達成目標：2025年健診結果待ち

結果

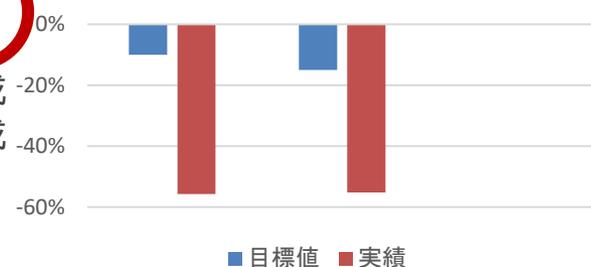
-410 (-56%) : 達成

-328 (-55%) : 達成

2025年健診結果待ち



要受診該当率の減少



測定方法

2021年度健診結果において要受診該当者（拡張期血圧：160以上または収縮期血圧：100以上 HbA1c：6.5以上8.0未満）ぱぱす37名、マツモトキヨシ295名、ココカラファイン405名 計737名に対し良化離脱数を検証

※退職者除く

5. 保健事業としての成果と評価

事業C 長期成果

データの一元化、活動の可視化、PFS評価指標に基づく効果検証によりコラボヘルスを推進

③ 生活習慣改善に伴う要経過観察該当者率の減少

定義

高血圧・高血糖要治療レベル

2023年3月の達成目標：-566名 -10%

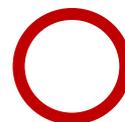
2024年3月の達成目標：-633名 -15%

2025年3月の達成目標：2025年健診結果待ち

結果

-1891 (-33%) : 達成

-1492 (-34%) : 達成



0%

-20%

-40%

要経過観察該当者率減



測定方法

2021年度健診結果において要経過観察該当者（拡張期血圧：140以上または収縮期血圧：90以上 HbA1c：5.6以上6.5未満）ぱぱす283名、マツモトキヨシ2280名、ココカラファイン3092名 計5655名に対し良化離脱数を検証 ※退職者除く

④ 脳卒中発症リスク者率の減少

定義

脳卒中発症リスク者（15%≦）レベル

2023年3月の達成目標：-2名 -10%

2024年3月の達成目標：-2名 -15%

2025年3月の達成目標：2025年健診結果待ち

結果

-9 (-53%) : 達成

-11 (-73%) : 達成

2025年健診結果待ち

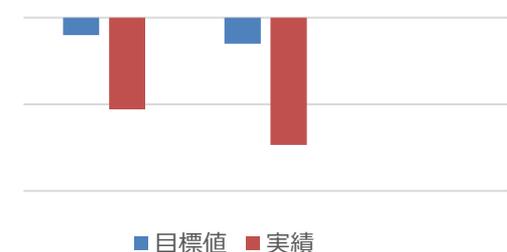


0%

-50%

-100%

脳卒中発症リスク者率減



測定方法

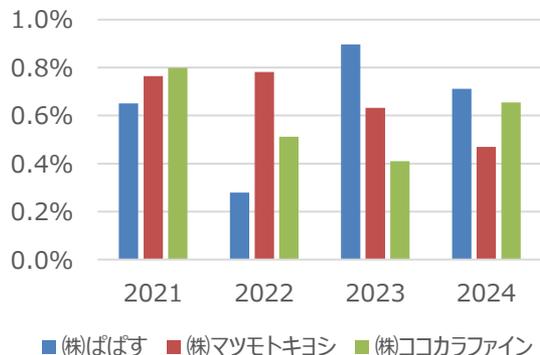
2021年度健診結果において脳卒中発症リスク者（15%≦）レベル（日本脳卒中学会『脳卒中治療ガイドライン 2021〔改訂2023〕〕に従い算出）ぱぱす0名、マツモトキヨシ10名、ココカラファイン7名 計17名に対し良化離脱数を検証 ※退職者除く

5. 保健事業としての成果と評価

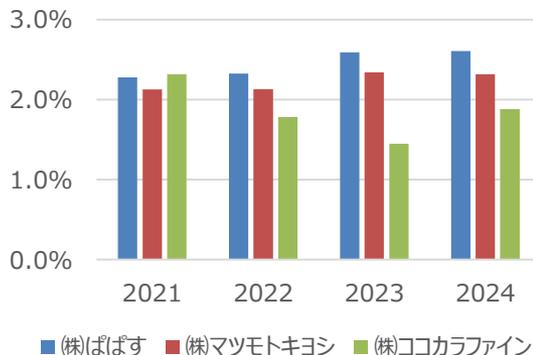
<参考：介入団体毎の該当者率の経年変化>

血圧

要治療該当率



要受診該当率

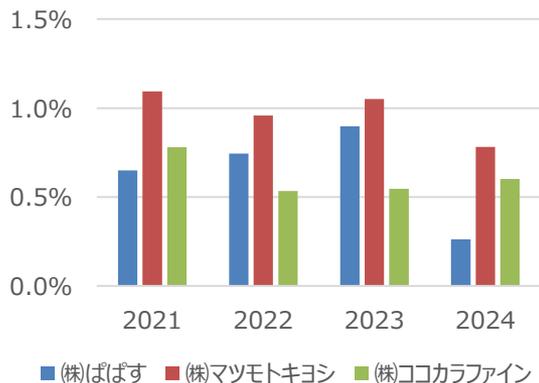


要経過観察該当者率

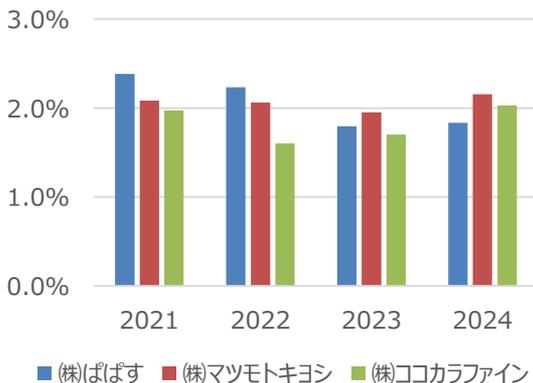


血糖

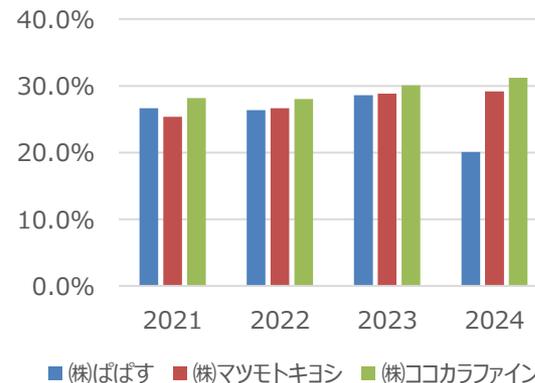
要治療該当率



要受診該当率



要経過観察該当者率



6. PFS事業としての成果

指標（＝ロジック検証）について

第三者評価機関である産業医大から健康投資効果を考える上で重要な役割を果たす要素として事業主・健保のコラボヘルス度を示す指標、従業員の意識変容・行動変容に関してはPOS（Perceived Organizational Support）健康関連の最終的な目標については要治療レベルから要観察レベルまで血糖、血圧、脳卒中発症リスクを用いて該当率の経年変化を追った。それぞれの因果関係まで示すには至らないが**いずれの指標も開始時と比較し目標を大きく上回る形で推移した**

指標の定義・計算方法について

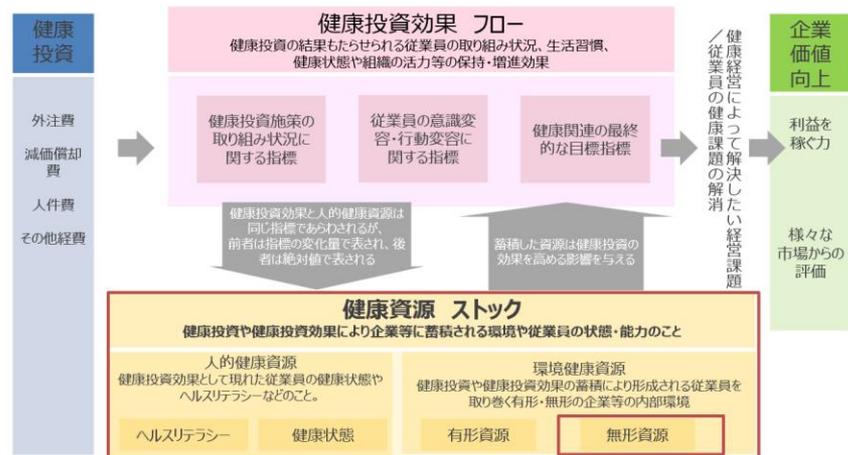
コラボヘルス指標、従業員調査、健診結果、レセプトをもとに対象者の抽出やアウトカム指標の計算を行うことで客観的かつ定量的な指標として定義、活用することができた。プロジェクト遂行上においてもコラボ推進委員会で適宜進捗を共有するなど**共通の理解を浸透させるツール**としても有効であった

成果指標の目標設定・結果について

各指標の目標値については第三者評価機関の産業医大からの助言に基づき設定したものの、目標を大きく上回り達成する指標が多く散見された。今回初めて民間委託事業者の支援によりコラボヘルスとして活動し、レベル別介入を強力に推進した影響により**2021年度と比較し健診結果が良化する割合が6割に達するなど好結果**を得ることに繋がった。目標設定についてはPFS事業を採用する団体のそれまでの介入活動等により大きくブレてしまう可能性があり、事前の状況調査が肝要であると示唆された

費用対効果について

今回プロジェクトの総費用は約4千万円（人件費除く）であり、要受診レベルより脱出できた総数だけを考えても約400名、当初より想定していた年間一人当たり医療費17万円を乗じると68百万円の医療費支出回避ができた想定され、他に脳卒中等の重篤者の回避等も考えると**十分なリターンを得ることが出来た**と思われる



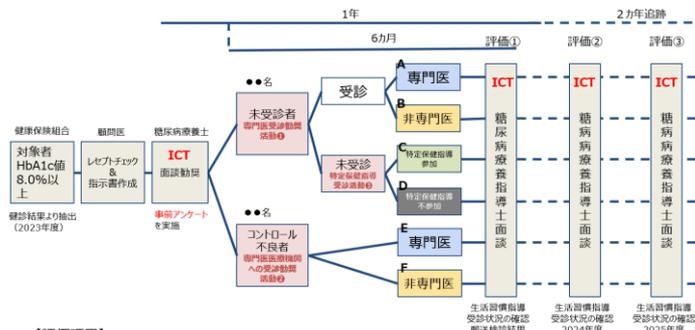
7. 今後の事業方針

実施により生じた課題やメリット

メリット①：PFS指標を中心に事業主とのコラボヘルスが進み、課題認識から評価指標の設定、活動連携まで他の課題に対しても**取り組める体制が構築できた**

メリット②：特に就業制限レベル対象者に対しコラボヘルス推進により健保側に顧問医・保健師を配置し**レセプト活用し専門医への受診誘導を図る**自前による介入モデルを構築しPFS指標により攻めのハイリスクアプローチによる成果管理ができるようになった

課題①：就業制限レベル者は健保側より介入しても**約4割は言うことを聞かない**ため産業保健チームへ連携するが、そのあとどこまで就業制限等のラインパワーを活用し行動変容を促すかの運用方針を決定していく必要がある。保健指導レベル者のプログラム参加率は**13%程度にとどまり参加率向上が課題**



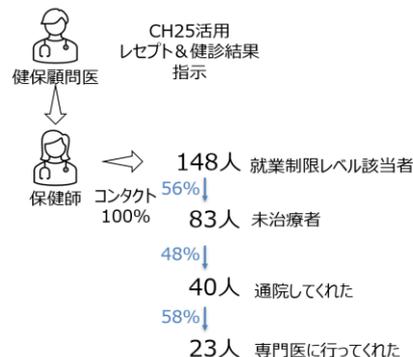
【評価項目】

健診結果：BMI、血糖値（空腹時、HbA1c）、血圧、肝機能、その他

評価時取得項目：受診、治療薬、検査数値、合併症検査（眼底、尿タンパク、尿中アルブミン等）

【分析】

A群対B群、C群、D群、E群対F群を比較し、その検査結果の差を専門医と非専門医での合併症の検査や治療薬の差や特定保健指導による生活習慣の改善化により分析



項目	健康優良		A-1等		専門医		健診未実施	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
計	148	100%	0	0%	0	0%	0	0%
未受診者数	83	56%	100%	100%	0	0%	0	0%
受診者数	40	27%	48%	100%	0	0%	0	0%
全層別	27	18%	0	0%	0	0%	0	0%
未受診者数	43	29%	52%	100%	0	0%	0	0%
受診者数	65	44%	0	0%	0	0%	0	0%
保健指導実施数	148	100%	0	0%	0	0%	0	0%
保健指導未実施数	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	76	100%	0	0%	0	0%	0	0%
未受診者数	36	47%	100%	100%	0	0%	0	0%
受診者数	15	20%	42%	100%	0	0%	0	0%
全層別	10	13%	0	0%	0	0%	0	0%
未受診者数	21	28%	67%	100%	0	0%	0	0%
受診者数	40	53%	0	0%	0	0%	0	0%
保健指導実施数	76	100%	0	0%	0	0%	0	0%
保健指導未実施数	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	72	100%	0	0%	0	0%	0	0%
未受診者数	47	65%	100%	100%	0	0%	0	0%
受診者数	25	35%	52%	100%	0	0%	0	0%
全層別	13	18%	0	0%	0	0%	0	0%
未受診者数	22	31%	47%	100%	0	0%	0	0%
受診者数	35	48%	0	0%	0	0%	0	0%
保健指導実施数	72	100%	0	0%	0	0%	0	0%
保健指導未実施数	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

今後の事業方針

本PFS事業では3か年をかけて主要事業所である(株)ぱぱす、(株)マツモトキヨシ、(株)ココカラファイン3社において活動してきたが活動成果が期待できることから今後は**他の事業所にも範囲を拡大し展開していく**